

令和元年度 事業系一般廃棄物減量化計画書のまとめ

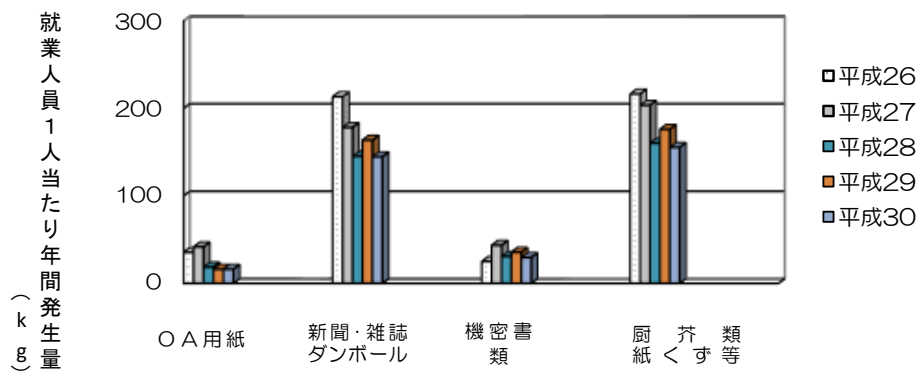
1. はじめに

このまとめは、市内の大規模事業者の皆さまより提出していただいた事業系一般廃棄物減量化計画書に基づいて、平成30年度実績での事業系一般廃棄物の発生状況と減量化・資源化の具体的手法についてとりまとめたもので、事業者の皆さまに今後の廃棄物管理の参考としていただくことを目的として作成しました。

2. 対象及び提出状況

- ◇ 対象事業者数 416
- ◇ 提出事業者数 331
- ◇ 提出率 79.6%

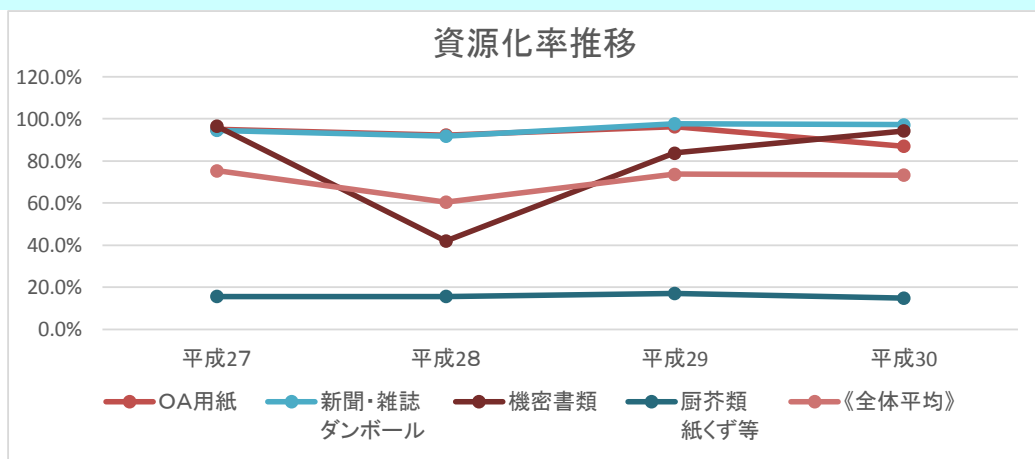
3. 就業人員1人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量の推移



◇ 就業人員1人当たり年間発生量 (kg)

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙 く ず 等	《 合 計 》
平成26	35.3	213.4	24.9	216.5	490.1
平成27	41.5	178.3	43.5	203.6	466.9
平成28	18.5	145.3	30.9	160.2	354.9
平成29	16.1	163.6	35.5	176.1	391.3
平成30	16.0	144.7	29.5	155.4	345.6

4. 事業系一般廃棄物の資源化率の推移



◇ 資源化率

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙 く ず 等	《 全 体 平 均 》
平成26	95.1%	94.2%	96.0%	19.0%	76.1%
平成27	95.0%	94.6%	96.5%	15.7%	75.5%
平成28	92.4%	91.8%	42.0%	15.7%	60.5%
平成29	96.3%	97.7%	83.8%	17.1%	73.7%
平成30	87.0%	97.2%	94.3%	14.9%	73.4%

5. 減量化・資源化の具体的手法

書類系	<ul style="list-style-type: none"> ◇社員各個人別・課別のコピー用紙使用枚数を把握し不要な印刷物を控える ◇用紙の両面使用・裏紙使用・縮小コピー、メモ用紙として再利用 ◇スキャナ・社内LAN・プロジェクター・テレビ会議を活用し、用紙の使用量を削減 ◇シュレッダー処理後の書類をRPF化する業者で処理、資源化
飲食系	<ul style="list-style-type: none"> ◇食用油の全量回収、燃料として再資源化 ◇生ごみ処理機を使用し自社で堆肥化 ◇廃棄ロスの予算化を行う・売り切り基準を決めるなどによる廃棄食品の発生抑制 ◇堆肥化や飼料化を行う業者で処理
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ごみの計量を徹底し、部署別排出量や再資源化量を社内で公開することで意識向上を図る ◇ごみ分別状況パトロールの実施、未分別品などの報告 ◇グリーン購入、リサイクル製品の購入および使用 ◇ISOなどの環境マネジメントシステムに基づく廃棄物管理 ◇レジ袋有料化・マイバッグ運動の実施 ◇EA21（エコアクション21）の推進

6. 優良事業所の取り組み例

名称	従業員数	廃棄物量	資源化率	取組内容
赤塚植物園	112	0.21t/人	89%	エコキャップ運動に参加しています。社内で事務用品等所有者名記載や消耗事務用品有効利用キャンペーンを実施しています。毎年市内の小中学校に球根プレゼントを行い、お花一杯運動を行っています。
株式会社くろがね工作所 津工場	236	0.17t/人	85%	3か月に1回の環境委員会で廃棄量・推移の検討・改善策の検討・周知を行っています。又、LED照明、省エネルギー型空調設備の採用により省資源化を進めております。
ザ・ビッグエキストラ 津河芸店	186	1.53t/人	80%	従業員のレジ袋の禁止や衛生資材などの使用量削減を行っています。また、食品の見切り計画を前倒しし売り切る体制を実施することで廃棄を減らす取り組みを行っています。
マックスバリュ津北店	155	1.59t/人	81%	古紙リサイクルステーションを設け、利用者にWAONポイントの付与を行っています。発生したごみの量を部署別に計量し従業員に公開することで意識向上を促しています。

今後とも事業系一般廃棄物の減量化・資源化にご協力をお願いします。

事務担当	津市環境部 環境政策課 資源循環推進担当
電話番号	059-229-3258
E-mail	229-3139@city.tsu.lg.jp